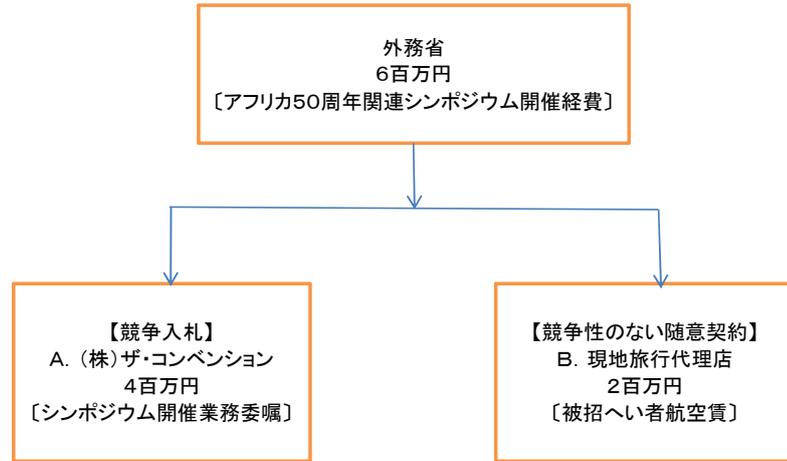


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アフリカの年50周年関連事業経費		担当部局庁	中東アフリカ局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	アフリカ第一課		課長 赤松 武		
会計区分	一般会計		施策名	I-6 アフリカ地域外交				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第2項		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	「アフリカの年」から50周年にあたる節目の年(2010年)に、シンポジウムを国内で開催し、日・アフリカ関係の重要性をアピールする。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	2010年は、アフリカ17カ国が相次いで独立した「アフリカの年」から50周年にあたる。この節目の年に、ピンAU委員長をはじめとする内外のアフリカ関係者の参加を得て、来る半世紀を見据えたアフリカの将来像と日・アフリカ関係をテーマとしたシンポジウムを国内で開催した。関係機関と協力して相乗効果を高める観点から、本シンポジウムは、国連大学において、JICA、JETRO、国連大学の協賛を得た形で開催した(後援:朝日新聞)。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	15	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	15	-	-	
	執行額	-	-	6	-	-		
	執行率(%)	-	-	41.2%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	【成果目標】アフリカの現状を理解し、日アフリカ関係強化を支持する国民の増加 【成果実績】来場者数(=上記目標のために直接的に働きかけた対象人数)(予算上想定していた来場者数を目標値とする。)			人	-	-	300	-
			達成度	%	-	-	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	フォーラム開催数			回	-	-	1 (1)	- (-)
単位当たり コスト	6,004,000(円/フォーラム)		算出根拠	22年度実績額				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		2010年に「アフリカの年(アフリカ17ヶ国が相次いで独立)」から50周年を迎えたアフリカは、「希望と機会の大陸」として国際社会の注目を集めているが、我が国においてはその地理的・歴史的関係の薄さもあり、依然としてアフリカへの関心は低いレベルにとどまっている。それゆえ、アフリカの課題についての議論が行われる機会も少なく、また国民からの意見を反映したより適切な政策立案も行いにくいという問題が生じている。本件予算によってアフリカの進化を牽引するAU(アフリカ連合)のピン委員長やNEPADのマヤキ事務局長らの出席の下、多くの参加者を得たフォーラムが開催され、日本国内においてアフリカの現状に関する正確な理解を促し、アフリカへの関心をより高い水準に引き上げるとの目的は十分に達成された。	
予算監視・効率化チームの所見			
		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		—	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. (株) ザ・コンベンション			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	雑役務費	4			
計		4	計		0
B. 現地旅行代理店			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
招へい費	被招へい者の航空賃	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ザ・コンベンション	フォーラム開催業務委嘱	4	7	50
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	現地旅行代理店A	被招へい者の航空賃購入代	1	随意契約	
2	現地旅行代理店B	被招へい者の航空賃購入代	1	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					